

環境報告書

(2017年4月1日~2018年3月31日)

2017年度

2018年 4月16日

株式会社 ライフ

1. 組織の概要

- (1)事業所名 : 株式会社 ライフ
- (2)代表者氏名 : 代表取締役 田手 充
- (3)所在地 : 宮城県名取市高館吉田字東内館 33 番 1
- (4)事業内容 : 産業廃棄物の収集運搬業、特別管理産業廃棄物の収集運搬業
- (5)資本金 : 10,000,000 円
- (6)沿革 : 2006 年 9 月 6 日設立
- (7)事業の規模
 - ①売上高 : 1,037,000,000 円
 - ②従業員数 : 9 名
 - ③敷地面積・延床面積
 - ・本社・事務所敷地面積 : 1 4 8 9m²延床面積 : 3 0 坪

(8)許認可一覧と処理能力及び取扱い産業廃棄物

産業廃棄物収集運搬業許可一覧表

更新日 : 平成30年 3月31日

産 業 廃 棄 物 収 集 運 搬 業 許 可 一 覧	都道府県名	許可番号 許可有効期間	産業廃棄物の種類																	
			燃 え 殻	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	チ ツ ク ス	紙 く ず	木 く ず	繊 維 く ず	ゴ ム く ず	金 属 く ず	陶 磁 器 く ず	ガ ラ ス く ず	が れ き 類	鉛 さ い	ば い じ ん	動 植 物 性 廃 棄 物	政 令 1 3 号
産 業 廃 棄 物 収 集 運 搬 業 許 可 一 覧	宮城県	第 00402138959 号 自平成 29 年 12 月 4 日 至平成 36 年 12 月 3 日	○	○	○	○	○	☆	○	○	○	○	●	☆	◎	○	○	○	○	○
	青森県	第 00201138959 号 自平成 29 年 6 月 5 日 至平成 34 年 5 月 7 日	○	○	○	○	○	☆	○	○	○	○	●	☆	◎	○	○	○	○	○
	秋田県	第 00507138959 号 自平成 26 年 6 月 3 日 至平成 31 年 5 月 28 日	○	○	○	○	○	☆	○	○	○	○	●	☆	◎	○	○	○	○	○
	岩手県	第 00300138959 号 自平成 25 年 11 月 26 日 至平成 30 年 11 月 25 日	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○
	山形県	第 0609138959 号 自平成 26 年 5 月 2 日 至平成 31 年 3 月 31 日	○	○	○	○	○	☆	○	○	○	○	●	☆	◎	○	○	○	○	○
	福島県	第 00707138959 号 自平成 26 年 6 月 24 日 至平成 31 年 5 月 19 日	○	○	○	○	○	☆	○	○	○	○	●	☆	◎	○	○	○	○	○
	新潟県	第 01509138959 号 自平成 26 年 5 月 16 日 至平成 31 年 5 月 6 日	○	○	○	○	○	☆	○	○	○	○	●	☆	◎	○	○	○	○	○
	栃木県	第 00900138959 号 自平成 26 年 5 月 15 日 至平成 31 年 5 月 14 日	○	○	○	○	○	☆	○	○	○	○	●	☆	◎	○	○	○	○	○
	群馬県	第 01000138959 号 自平成 26 年 9 月 14 日 至平成 31 年 9 月 13 日	○	○	○	○	○	☆	○	○	○	○	●	☆	◎	○	○	○	○	○
	茨城県	第 00801138959 号 自平成 27 年 3 月 26 日 至平成 32 年 2 月 22 日	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○
	埼玉県	第 01105138959 号 自平成 26 年 3 月 26 日 至平成 31 年 2 月 11 日	○	○	○	○	○	☆	○	○	○	○	●	☆	◎	○	○	○	○	○
	東京都	第 1300138959 号 自平成 25 年 11 月 10 日 至平成 30 年 11 月 9 日	○	○	○	○	○	☆	○	○	○	○	●	☆	◎	○	○	○	○	○
	千葉県	第 01200138959 号 自平成 26 年 5 月 12 日 至平成 31 年 4 月 15 日	○	○	○	○	○	☆	○	○	○	○	●	☆	◎	○	○	○	○	○
	神奈川県	第 01402138959 号 自平成 25 年 10 月 22 日 至平成 30 年 10 月 21 日	○	○	○	○	○	☆	○	○	○	○	●	☆	◎	○	○	○	○	○
	長野県	第 2009138959 号 自平成 27 年 12 月 13 日 至平成 32 年 12 月 12 日	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○
	山梨県	第 01900138959 号 自平成 28 年 2 月 8 日 至平成 33 年 2 月 7 日	○	○	○	○	○	☆	○	○	○	○	●	☆	◎	○	○	○	○	○
石川県	第 01705138959 号 自平成 27 年 6 月 23 日 至平成 32 年 6 月 22 日	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	

○:取得許可品目 ◎:石綿含有産業廃棄物を含む ●:自動車等破砕物を含む ☆:石綿含有産業廃棄物、自動車等破砕物を含む

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可一覧表

更新日：平成30年 3月31日

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可一覧	都道府県名	許可番号 許可有効期間	特定管理産業廃棄物の種類										
			廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性	特定有害産業廃棄物						
							廃石綿	鉱さい	ばいじん	燃えがら	汚泥	廃油	廃酸
宮城県	第 0452138959 号 自平成26年3月24日 至平成31年3月23日	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
		青森県	第 00251138959 号 自平成29年6月5日 至平成34年5月7日	○	○	○		○		○	○	○	○
山形県	第 0659138959 号 自平成26年8月5日 至平成31年7月7日			○	○	○		○	○	○	○	○	○
		福島県	第 00757138959 号 自平成26年2月3日 至平成31年2月2日	○	○	○		○	○	○	○	○	○
新潟県	第 01559138959 号 自平成27年3月10日 至平成32年3月9日			○	○	○		○	○	○	○	○	○
		栃木県	第 00950138959 号 自平成29年3月26日 至平成34年3月26日	○	○	○		○	○	○	○	○	○
埼玉県	第 01150138959 号 自平成26年9月1日 至平成31年8月31日			○	○	○		○					
		東京都	第 1357138959 号 自平成26年9月14日 至平成31年9月13日	○	○	○		○	○	○	○	○	○
神奈川県	第 01452138959 号 自平成21年2月16日 至平成31年2月15日			○	○	○		○	○	○	○	○	○

- ① 産業廃棄物運搬車両（施設）の種類（車両形式・積載量）と数量（台数）
・処理実績

収集運搬実績	単位	2015年度	2016年度	2017年度
産業廃棄物運搬量	トン	43,192.9	155,516.88	59,393.94

- ・車両の種類と台数

車両の種類	台数
25 t 深ダンプ車	6台
セミトレーラ	1台
合計	7台

②特別管理産業廃棄物運搬車両（施設）の種類（車両形式・積載量）と数量（台数）

・処理実績

収集運搬実績	単位	2015年度	2016年度	2017年度
特別管理産業廃棄物 収集運搬量	トン	640.25	752.44	77.37

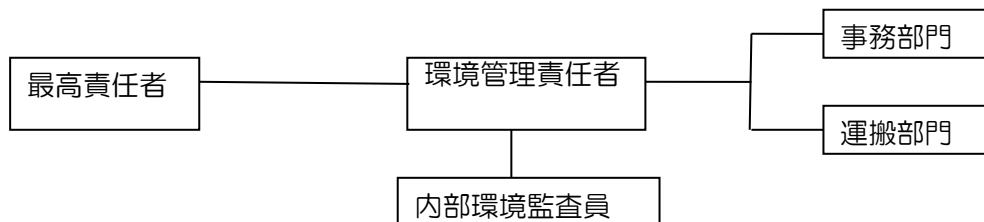
・車両の種類と台数

車両の種類	台数
25 t 深ダンプ車	6台
セミトレーラ	1台
合計	7台

(10) 廃棄物の処理料金

運搬距離、廃棄物内容、回収形態等により、都度見積もりをおこなう。

(11) 環境活動の取り組み体制



環境管理責任者：柴又 里見

担当者連絡先：株式会社 ライフ

(TEL：022-397-7205 FAX：022-397-7206)

2. 登録対象

(1) 登録内容

みちのく EMS 登録証：

登録日：2015年10月29日（初回：2009年10月29日）

登録期限：2018年10月28日

登録番号：みちのく EMS 09011

(2) 登録範囲

産業廃棄物の収集運搬業、特別管理産業廃棄物の収集運搬業

(3) 対象事業所

事務所：宮城県名取市高館吉田字東内館33番1

3. 環境方針

株式会社ライフ 環境方針

<基本理念>

私たちは、地球環境問題を人類永遠の課題と捉え、社員全員がこの共通の意識のもとに、社内外におけるあらゆる活動を通して、環境負荷の低減、環境保全の実現のために積極的に努力します。

<基本方針>

1. 株式会社ライフは、事業活動を通じて、社会に対して環境保全の取り組みを積極的に展開します。
2. 環境目的と環境目標を定め、全社員は一致協力してその達成に努める。
目的と目標は定期的に見直します。
3. 社内のあらゆる活動において発生する環境に及ぼす影響を常に認識し、以下の項目に取り組み、汚染の予防ならびに継続的改善に努めます。
 - ① 大気への放出（二酸化炭素排出量）
 - ② 水への排出（水の使用量）
 - ③ エネルギーの使用（電気・軽油）
 - ④ グリーン購入
 - ⑤ 事業所からの廃棄物の排出量
 - ⑥ 受託した廃棄物の処理に対する環境配慮活動
4. 環境側面に関する法規制、協定及びその他の要求事項を順守します。
5. この環境方針は、全社員に周知するとともに、一般にも公開します。

平成28年12月 1日

株式会社 ライフ

代表取締役 田手 充

4. 環境目的・環境目標

2016年度以降の環境目標・環境目的

環境目的 2015～2017年度	2015年度 2015年4月1日～ 2016年3月31日 (基準値)	2016年度 2016年4月1日～ 2017年3月31日 目標値	2016年度 2016年12月1日～ 2017年3月31日 目標(参考)	2017年度 2017年4月1日～ 2018年3月31日 目標値	2018年度 2018年4月1日～ 2019年3月31日 目標値
軽油燃費の向上 2015年度比 0.03 km/L 向上	1.98 (km/L)	1.99 (km/L)	1.99 (km/L)	2.00 (km/L)	2.01 (km/L)
電気使用量の削減 2015年度比 0.3%削減	10,432 (kwh/年)	10,422 (kwh/年)	3,474 (kwh/年)	10,412 (kwh/年)	10,402 (kwh/年)
二酸化炭素の排出量削減 2015年度比 0.3%削減	988,276 (kg-co/年)	987,288 (kg-co/年)	328,809 (kg-co/年)	986,300 (kg-co/年)	985,312 (kg-co/年)
グリーン購入の推進 2015年度比 3品目増加	5 (品目/年)	6 (品目/年)	6 (品目/年)	7 (品目/年)	8 (品目/年)
総排水量 (又は水使用量)の削減 2015年度比 3 m ³ 削減	264 (m ³ /年)	263 (m ³ /年)	96 (m ³ /年)	262 (m ³ /年)	261 (m ³ /年)
廃棄物排出量削減 2015年度比 3袋削減	84 (枚/年)	83 (枚/年)	31 (枚/年)	82 (枚/年)	81 (枚/年)

※購入電力：0.559 (kg-CO₂/kWh)、灯油：0.0679 (kg-CO₂/MJ) *36.7 (MJ/l)、LPG：0.0598 (kg-CO₂/MJ)*50.2(MJ/kg)、ガソリン：0.0671 (kg-CO₂/MJ)*34.6(MJ/l)、軽油：0.0687 (kg-CO₂/MJ)*38.2(MJ/l)

※2016年度はみちのく EMS 規格 2 版での運用が 2016 年 11 月末まで、12 月 1 日より優良産廃処理業者用規格（初版）に移行した。優良産廃処理業者用規格（初版）の運用は 12 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日。適用規格上の運用実績は 12 月からとなるが、活動内容に変更はないため、年度での集計、報告とした。2016 年 12 月から 3 月までの目標は 2016 年度の目標より抜粋作成。

5. 環境目的・環境目標と実績（環境マネジメントプログラム）

2017年度環境活動実績

環境目的	具体的方策	2017年度 2017年4月1日 ～2018年3月31日		
		みちのくEMS規格2版 優良産廃業者用規格初版 混合		
		目標値	実績値	評価
軽油燃費の向上 2015年度比 0.01 km/L 向上	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップに努める ・急発進、急加速、急ブレーキのないよう努める ・車両の日常点検・整備（空気圧、エンジンオイル等）を徹底する 	2.00 km/L	2.38 km/L	A
電気使用量の削減 2015年度比 0.1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・就業前の部分消灯を徹底する ・昼休み時の不要な照明の消灯を徹底する ・超過勤務時の部分消灯を徹底する ・業務に支障をきたさないOA機器について昼休み及び退社時にコンセントの抜き取りを行う ・自然光利用による窓際照明の消灯を徹底する ・デスクトップパソコンのモニターとプリンタは使用していないときは電源をOFFにする ・冷暖房の適正温度にし、省エネに努める（夏）28℃（冬）22℃ 	10,412 Kwh/年	9,973 Kwh/年	A
二酸化炭素の 排出量削減 2015年度比 0.1%削減	<ul style="list-style-type: none"> 【電力】 ・エアコン設定（夏）28℃（冬）22℃ 【灯油】 ・エアコンと併用 【LPG】 ・電気給湯器と併用 【ガソリン】 ・アイドリングストップ ・買換え時にeco車両導入 【軽油】 ・アイドリングストップ ・合理的な運搬経路による収集運搬（幹線道路使用） 	986,300 kg-co/年	918,005 kg-co/年	A
グリーン購入 の推進 2015年度比 1品目以上の増加	<ul style="list-style-type: none"> ・事務用品購入時、グリーン商品を選ぶ ・グリーン購入品目を設定する 	7 品目/年	7 品目/年	A
総排水量（又は水使用量） の削減 2015年度比 1 m ³ 削減	<ul style="list-style-type: none"> ・高圧洗浄機による合理的な洗車 ・流しっぱなしの禁止 	262 m ³ /年	274 m ³ /年	B
廃棄物排出量削減 2015年度比 1枚ゴミ袋の量を削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別 ・コンビニ弁当のごみは持ち帰らない 	82 枚/年	81 枚/年	A

評価記号 A：良好(100%以上) B：やや不足(90～100%) C：不適合(90%以下)

※購入電力：0.559 (kg-CO₂/kWh)、灯油：0.0679 (kg-CO₂/MJ) *36.7 (MJ/l)、LPG：0.0598 (kg-CO₂/MJ)*50.2(MJ/kg)、ガソリン：0.0671 (kg-CO₂/MJ)*34.6(MJ/l)、軽油：0.0687 (kg-CO₂/MJ)*38.2(MJ/l)

5.1 具体的環境活動の評価

2017年（2017年4月1日から2018年3月31日）

- ◇ 電力使用量の削減では、照明やエアコンについて部屋ごとに消灯や運転温度を管理することで、省エネに対し意識づけをし、確認記録を環境管理責任者が定期的にチェックをした。各人、それぞれが意識的に温度管理を行うようになった。
- ◇ 灯油使用量の削減では、エアコンとの併用を実施したがエアコンの使用を抑制した分、灯油の使用料が増加した。
- ◇ LPGの使用料では、電気給湯機との併用により使用料が減少した。
- ◇ ガソリン使用量の削減では、休憩時（運行時）のアイドリングストップの徹底、急アクセル、急ブレーキをしないでいい運行状況を作るよう心掛けさせた。
- ◇ 軽油の使用料の削減では、休憩時（運行時）のアイドリングストップの徹底、急アクセル、急ブレーキをしないよう徹底させ、合理的な運搬経路を運行することでいい運行状況を作るよう心掛けさせた。
- ◇ 用水使用量の削減については、従来、車両の洗浄等で水を出しっぱなしで作業をするなど、無駄が多かったが、高圧洗浄機による洗車を徹底させること意識づけ、各自節水を心がけるようになったが洗車頻度が多く目標達成にはならなかった。
- ◇ グリーン購入については、リサイクル品で事足りる品物については、可能な限りリサイクル品で代行出来るように、意識づけさせた。今年度は目標としている7品目は代替えし、徐々に意識の高まりを感じるようになった。
- ◇ 廃棄物の抑制については、分別を徹底したため目標を達成できた。

5.2 2017年度活動についての今後の課題

電力やガソリン使用量の削減については細かい基準を作成し、徹底して管理した結果、大きな削減成果を得た。また、廃棄物排出量の削減は即効果が表れていないが今後更に教育等の徹底に努める。さらに、用水節減については、教育の成果が実現途中にあり、目標達成に至っていないため、本項目も教育等の徹底に努める。来年度については、今年と同じ目標を掲げ、レベルアップしたい。

- ◇ 電力使用量の削減については、創意工夫で更に実績を上げる。
 - ◇ 廃棄物使用量の削減については、本年度の教育効果が発揮されることを期待する。
 - ◇ 用水使用量削減については、一層の意識徹底を図り、再度チャレンジする。
- 尚、来年度は次の年のテーマ設定のための予備調査項目をサブテーマとして掲げることを検討している。次年度テーマとしては極力本業に係わる内容のものを取り上げていくことを検討する。

6. 環境関連法規の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、順守状況を定期的に確認し、評価の結果、違反はなかった。また関係機関等からの違反の指摘・苦情・訴訟はなかった。

7. 内部監査・外部監査の報告

7.1 内部監査

実施日：2018年 4月10日 範囲：本社 チーム編成：内部監査員1名

結果の報告：不適合 0件 ※経過観察 2件

7.2 外部審査（みちのくEMS）

実施日：2017年 4月24日 審査結果：観察事項 1件

8. 最高責任者による全体の評価見直しの結果

8.1 全体評価

システムの構築は、全般的にスムーズに運用され、現時点で見直す点はない。
2018年度もこのシステムを継続し、環境負荷低減に向けて推進すること。

8.2 見直し評価

環境方針の変更の必要性はない

9. コミュニケーション

平成29年10月19日に宮城県産業廃棄物協会仙台支部が開催する、蒲生海岸地区クリーン作戦に参加した

平成30年1月18日に宮城県産業廃棄物協会仙台支部が開催する、研修会及び賀詞交歓会に参加した

- 研修会
演題「廃棄物処理処理法改正等について」
講師
行政書士大澤利昭事務所
大澤 利昭
- 新年賀詞交歓会

以上